



第五校区小中一貫教育目標 「やさしく かしこく たくましく」



第五小・開北小・第五中
第五コミュニティ
第1号



第五中校区コミュニティ・スクールだより

子供たちや地域の輝く未来を創るために

令和2年9月24日



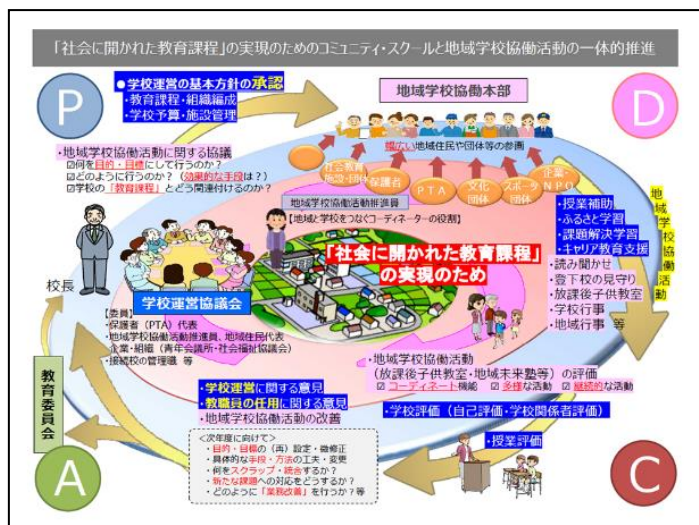
沼津市は子供たちや地域の輝く未来を創るために、コミュニティ・スクールの導入を決め、令和2年度、第五中・大岡中校区をモデル校に指定しました。子供たちを取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑化・困難化しており、教育改革、地方創生等の動向からも、学校と地域の連携・協働の重要性が指摘されています。このような今、学校・家庭・地域が一体となって取り組む「地域とともにある学校」へ転換することが求められています。それを実現可能にする仕組みの一つが、コミュニティ・スクールの導入です。(広報ぬまづ5.15号より)

コミュニティ・スクールって何？

コミュニティ・スクールは、「学校運営協議会」が設置された学校を指します。沼津市は小中一貫教育を推進しているため、第五小・開北小・第五中の三校に対して、1つの「第五中校区学校運営協議会」を設置します。同時に「地域学校協働活動」も始まります。

第1回 第五中校区学校運営協議会 地域学校協働本部会議 開催！

9月10日(木)に第五地区センターにおいて、第1回の会合が行われました。沼津市より委員に委嘱状が渡され、引き続き、両委員で県教委主催のCS出前講座を受講しました。



↑この図は第五コミュニティHPに掲載中

- 一 令和2年度 第五中校区学校運営協議会委員一
- 会長 岡山 一夫様 (第五コミュニティ会長)
 - 副会長 佐久間清人様 (第五小PTA会長)
 - ディレクター 溝江 克希様 (元第五中PTA会長)
 - 委員 北村 正昭様 (西連合自治会長)
 - 〃 小林 昭 様 (南連合自治会長)
 - 〃 土屋 豊 様 (開北連合自治会長)
 - 〃 石田 則康様 (第五中PTA会長)
 - 〃 高田 雅人様 (開北小PTA会長)
 - 〃 西川 祐司様 (第五主任児童委員)
 - 〃 小澤 若乃様 (開北主任児童委員)
 - 〃 佐野 明美様 (保護司)
 - 〃 高田 利昭様 (地域学校協働本部コーディネーター)
 - 〃 上野 美幸 (第五中学校長)
 - 〃 田中 玲子 (第五小学校長)
 - 〃 植松 千明 (開北小学校長)

- 一 令和2年度 第五中校区地域学校協働本部委員一
- 本部長 岡山 一夫様 (第五コミュニティ会長)
 - 副本部長 影山富士彦様 (第五コミ広報部長)
 - コーディネーター 高田 利昭様 (第五コミ事務局長)
 - 委員 溝江 克希様 (学校運営協議会ディレクター)
 - 〃 平松 仁 様 (第五コミ社会福祉・教育学習部長)
 - 〃 覚本 直人様 (第五コミ地域振興部長)
 - 〃 小嶋 康幸様 (第五コミ地域安全部長)
 - 〃 山本 一成様 (第五コミ自主防災部長)
 - 〃 小野 義昭様 (第五コミ地区環境部長)
 - 〃 水野 明美様 (第五コミ広報部員)
 - 〃 杉山 智紀様 (元第五小PTA会長)
 - 〃 中嶋 良夫様 (地域スポーツ団体代表)
 - 〃 市川 勝也様 (元第五中学校長)



講座1 学校運営協議会の主な役割は？

- ①校長が作成する学校運営の基本方針を承認する。
- ②学校運営に意見を述べる。
- ③教職員任用に意見を述べる。

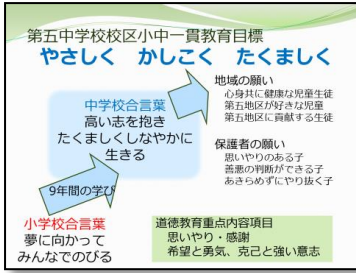
学校と協議会が対等な立場に立ち、お互いに当事者意識を持って、目指すところを共有し、協働につなげていきます。広く地域住民等の意見を反映させる観点から、学校運営に意見を申し出ることができます。学校だけでは気づけなかった、地域社会の視点、保護者の視点を加味することができます。

講座2 地域学校協働活動とは？

社会教育のフィールドにおいて、地域の人々や団体により、緩やかなネットワークを形成した任意性の高い体制であり、地域の実情に応じて活動内容を選択して実施します。例えば、登下校の見守り、あいさつ運動、環境整備、花壇づくり、読み聞かせ、授業の補助、部活動支援、出前授業などです。

保護者や地域住民が積極的に関わることで、子供たちの学びや体験が充実するとともに、住民や団体の地域参画のきっかけ、地域の活性化につながります。

令和2年度 第五中校区 第五小・開北小・第五中の学校運営の基本方針



令和2年度の小中一貫教育目標は「やさしく かしこく たくましく」、小学校合言葉は「夢に向かってみんなでのびる」中学校合言葉は「高い志を抱き たくましく しなやかに生きる」です。9年間の学びを通して「人間関係形成能力」「キャリア・プランニング能力」「課題達成能力」の3つの力を育てていきます。保護者の皆様、地域の皆様が願う、心身共に健康で、第五地区が好きな児童、第五地区に貢献する生徒を目指します。具体的な取組や手立てはそれぞれのグランドデザインを御覧ください。(グランドデザインは、各校HPに掲載してあります。)

協議

(1) 第1回 学校運営協議会で出された主な意見



- ・授業に地域の専門家を招いてはどうか。
- ・中学校の部活動指導に地域が協力してはどうか。
- ・支援を必要とする子供のために、地域から人を派遣してはどうか。
- ・三校とも外国につながる子供が増えている。言葉や生活習慣、保護者への支援に地域の力を活用しては?
- ・PTAの役員を、地域の高齢者に任せてはどうか。
- ・「地域へ関心がある」という子供が70～75%というのは残念。地域での居場所づくりが必要。
- ・外国につながる子供に日本語を教える支援をしてはどうか。(日本語親子教室など)
- ・発達に障害がある子供の早期発見・早期支援を期待する。

地域学校協働本部と連携し、地域総がかりで子供たちの教育に携わるための集まりです。子供たちのものの見方、感じ方、考え方、言動は、多様化する情報化社会に影響されます。自律する子供たちを支援する自律支援者として、子供たちと共に学び成長しましょう。活動へのご理解・ご協力を宜しくお願いいたします。



溝江 CS デルター

(2) 第1回 地域学校協働本部会議で出された主な意見

- ・今ある組織を生かして下の図のようにつながり学校を応援していく。
- ・既に行っている居場所づくりを継続・発展させる。
 将棋教室 物づくり教室 ケーキづくり教室 子供スポーツ大会
 もちつき大会 防災スクール ふれあい祭り 挨拶見守り 等
- ・不登校の子供への支援を考えたい。
- ・運営協議会と連携して活動していく。



↑この図は第五コミュニティHPに掲載中

第五地区コミュニティでは地域の未来を担ってもらうべく子供たちに対し「地域の子供は地域で育てる」をスローガンとし、各種教室やドッジビー大会などのイベント、防災スクールや地域一斉に実施している挨拶見守り運動などに取り組んでいます。このコミュニティ・スクールは従来の活動を更にもう一段階上に進めていくための地域と学校の協働活動です。皆様のご理解とご協力のもと進めていく先には地域の活性化が見えてくると思います。



高田J-データ

第五コミュニティの活動の様子は第五コミュニティHPで、第五小・開北小・第五中の活動の様子は各校HPでお伝えしています。ぜひ、御覧ください。

- 第五コミュニティHP <http://dai5komi.com/>
- 第五小学校HP <http://www.numazu-szo.ed.jp/daigo-e/>
- 開北小学校HP <http://www.numazu-szo.ed.jp/kaihoku-e/>
- 第五中学校HP <http://www.numazu-szo.ed.jp/daigo-j/>



なお、第2回学校運営協議会は、10月13日(火)13:30より第五小学校にて行います。